
「名探偵コナン」～帝丹小学校いじめ問題～

A.I

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「名探偵コナン」〜帝丹小学校いじめ問題〜

【Nコード】

N1425B

【作者名】

A・I

【あらすじ】

このお話は、今、ニュースなどで、いじめ問題が多いので、江戸川コナンの呼びかけで、いじめがなくなるといってお話である。

（前書き）

今回、初投稿です。

今問題になっている、いじめ。

今回は、コナンが味方です。

彼女の名前は、吉田歩美。

1年B組小林先生のクラスだ。

彼女は今・・・いじめを受けていました。

少年探偵団の仲間うちではありませんでした。

友達もちゃんといいます。そういう問題ではありませんでした。

いじめの原因は、彼女は、インフルエンザの影響により、算数が、遅れていました。

その為、例えば、計算ができなければ、グループの中で1人だけ遅れている。

今度覚えられなかったら、お金をいびられるという残酷なものでした。

そして、計算問題や応用問題ができなかったら、後で、男の子の連中（優秀）の奴らにいじめを受けていたのです。グループで最後だった・・・とか。そういう理由からいじめにあっていました。

歩美ちゃんは、だんだんと、自信損失になっていきました。
女の子の中でのいじめでもありません。

心配した、江戸川コナンは、歩美ちゃんを呼び出しました。
探偵団バッチで・・・
しかし、応答がありません。

コナンは、悟りました。

今、ニュースで、自殺・・・いじめ問題がすごいからな・・・

まさか！！歩美ちゃん・・・

コナンは、血相を変えると、応答がなかったので、学校の屋上へ行きました。

そこで、見たものは・・・??

恐るべきことが、ついに、現実のものとなってしまう。

屋上へと、やってきたコナン。

コナンは、とんでもないものを見てしまいます。

「歩美ちゃん！！！」コナンは、説得を始めました。

相当彼女は追い詰められていたらしい。

算数ができないのを苦に自殺を図ろうとしていたんだ。

それは・・・飛び降り自殺。学校の屋上から飛び降りようと決断したらしい。

足をかける彼女に、灰原もビツクリ。

これは助けなければと彼女も涙ながらに説得に応じました。

「歩美ちゃん！ねえ・・・算数がんばろう。

あなたなら、やれるわ。大丈夫。

あなたは、1人じゃないのよ。

バカなことしちゃだめ！！

もっとね、親のことや・・・あたし達のこと、考えなさい。

あなたは、1人じゃないわ。江戸川くんも、ついてるのよ。」灰原は、涙ながらに、説得しました。

後からやってきた、元太や光彦も説得します。

「俺なんて見てみる！」

俺だってあいつらにやられたんだぞ！そんな

ことで、自殺なんて考えるなよ！

俺だって算数まるつきりダメだぜ。

歩美はまだ俺に比べたら、取り戻せるだろ！？

死ぬなんて・・・ことしたら、絶対、ゆるさねーからな！！」元太も、涙ながらに、優秀な奴らにバカにされることを、我慢してるんだと話します。

みんなが今回の場合は、親もあいつらには気をつけなさいと話しているくらい、見事に、分っている奴らだからだ。先生もちろん、かばってくれたりで、知っている場合の問題である。

実はそのいじめた奴らというのは、コナンの話して、塾でも相当な悪の一味で有名というのを、光彦から聞いて、元太にも、話していました。頭はいいんだけど、心が狭い奴らだと、コナンは、こういう奴が一番、最低と、怒っていました。

コナンはここで、ある作戦を練りだしました。

「なあ、歩美ちゃん。降りといで・・・

俺が、助ける！！

だから・・・自殺だけは・・・絶対するな！！

保護者の間でもな、あいつらは・・・

悪というあまりに、有名だからな。塾でも同じことしてるらしい。

そんなに、勉強が出来ないとバカは許さない奴らなら、

俺に考えがある。

あいつらに、復讐しようぜ。今回は、勉強で勝つんだ。今度の、テストで、見返そうぜ！

俺もちょっとな、あいつらを見ているとな、腹立つし、頭にきてんだ。

気持ちは分るぜ。

優秀だからいいんか？そうじゃねーはずだろ？

一生懸命がんばってやってさ、出来ない子の味方をする事が、本当の優秀・優しさってもんなんじゃないのか？」コナンは、彼女を説得しました。

「コナンくん・・・」歩美は、自分は何をバカなことをしかけたんだろうと、

自殺をやめると、降りてくると、「わー・・・悔しい、悔しい・・・」と、コナンの胸に顔をうずめると、彼女は泣き出しました・・・

今度は、いじめた奴らが、屋上にやってきました。

コナンを見て、彼らは、大慌て。

コナンは、思い切り、ガンを飛ばしてやったのでした。

思い切りにらみつけています。

「げっ！！こいつ・・・江戸川コナンとかいう、学年トップで俺達と同じくらいの

レベルの奴だ！！ちょーむかつくぜ。探偵気取りが！！

女の子にもてやがってよ！！

優秀でも、超むかつくんだよ！」と、4人組はコナンに迫ります。

「あんだよ？これ以上、彼女を追い詰めてみるよ！

俺だって、黙ってねーぜ！！！！

これでも、くらってみっか？？」と、怖い目で、サッカーボールを取り出すと、

身構えました・・・

いじめた奴ら4人組は、「うるせー!! かかれーい!!!」と、いきなり、コナンにめがけてかかってきたからさあ、大変。

「コナンくん!!」歩美は、血相変えましたが、「歩美ちゃんを頼む!!」

コナンは、歩美を灰原のそこへ預けました。

「それでも、くらえー!!!!」

コナンは、サッカーボールを思い切り、蹴飛ばした!!

「ギエー!!!!」驚いた、4人組みは、逃げて行きました・・・

歩美は、驚いて目を見張る。

「すごい、コナンくん! ワザと、傷つけないように、サッカーボールを操ってるんだわ。」

他のメンバーは、「いえーい! バーカ!!」と、飛び上がって喜んでいました・・・

歩美ちゃんは、自殺未遂で終わりました。今回・・・

「けっ! 頭に来るぜ。」

さっ! あいつらのことは、ひとまず、忘れて、

俺達は、勉強会と行きますか。」コナンは、笑顔で言いました。

「あたし、勉強する!! あいつら絶対見返す!!」歩美は、やると言い出した。

「おう! お前なら、やれる! もう、自殺なんてバカなこと考えるん

じゃねーぞ。」

元太。「そうです。ここを乗り切れば、後でいいことが待っている！ってね・・・」

光彦。「そうよ。あなたなら、やれるわ。がんばってね。」灰原。

「みんな・・・ありがとう・・・」歩美は、自分にはこんないい仲間がたくさんいる。

味方が。

歩美は、もう自殺なんて、バカなことは絶対しない！とみんなに誓いました。

そして・・・数カ月後。

江戸川コナンの家庭教師によって、猛烈に急に成績が伸びた彼女。アガサ博士の家で、勉強の猛特訓をしたんだ。

テストで、全教科まさかのトップ。

コナンと同じレベルになってしまった。

「いー！？俺達、点数足りなかった・・・」

いじめた奴らは、点数が低かったんだ。青ざめる、4人組。

そして・・・？どうなったかというと。

「いじめて、すいませんでした・・・」

俺達が間違っていました・・・」

4人は、猛烈に反省したらしく、彼女の周りに集まって、頭下げて、誤った。

「もういいよ。分ってくれたなら。」歩美は、素直なんだ。笑顔になる。

こうして、みんな、仲直りしました・・・

後で。

歩美は、お菓子を持って、毛利探偵事務所へ、お母さんと、やってきました。

「はい！」蘭は、話を、お母さんから聞きました。

「へー・・・こいつ、やるじゃねーか。二ヒヒ・・・」と、毛利小五郎は、コナンの頭を撫でて、よくやった！と、誉めていました。

「これ・・・ささやかですが、皆様で召し上がって下さい。こないだ、北海道で、旅行に行ったんですよ。」お母さんは、お菓子を渡しました。

「ありがとう。コナンくん！」歩美は、コナンの側に来ると、頬に軽くキスしました。

「あー!？」毛利小五郎は、ちえっ！と、こいつばつかと、やきもちやいていました。

コナンは、顔真っ赤・・・湯気が頭からボン！！

皆は笑顔で笑っていました・・・

それからどうなったかというと。

少年探偵団・・・ってよりは、事件は未然に防げることが多くなつた。

というのは、コナンのところへ、この頃、いじめによる、ファックスや、携帯電話の相談が相次いだ。

「俺は、いじめ100当番じゃねー！！！！」

カウンセラーじゃねー！！！！！！

相談窓口の人じゃねーよ！俺は、探偵だー！！！！」

江戸川コナンは、アガサ博士の家の窓開けて叫んでいました・・・

灰原は、「あらあら、完全に、いじめ相談室になっちゃったわね。」

と、クスクス博士と一緒に笑っていたのでした・・・「江原さん

みたいな、カウンセラー目指したらどうじゃ？

探偵やめて・・・」アガサ博士は、ゲラゲラ笑っていました・・・

（終わり）

（後書き）

大体、こんな感じで仕上げてみました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1425b/>

「名探偵コナン」～帝丹小学校いじめ問題～

2011年10月3日17時01分発行